



環境に配慮した河川改修が行われた出石川。川を身近に感じてもらえるように階段やボードウォークが設置されている。

CHALLENGER

[挑戦者たち] 20



Phoenix Izushi River

出石川復興プロジェクト

四百頭ものオオサンショウウオの発見、それは自分たちの川を見直すきっかけとなった。自然環境に配慮された河川改修、住民と一体となった川づくりが始まった。

襲う台風23号

平成16年10月20日17時45分、初の「円山川洪水警報」発令。同23時15分、円山川、出石川が決壊。

まだ記憶に新しい台風23号の水害。戦後最大の出水を記録した大災害は、但馬地域に多大な傷跡を残した。

旧但東町内、円山川上流の出石川では川幅が狭いことから、護岸のコンクリートがえぐり取られ、荒々しい土肌がむき出しに。町職員の目の前でアスファルトが崩れ出し、あつという間に国道が流されていったという。

兵庫県では1日も早い復旧を目指し、特に被害の大きかった出石川で河川災害復旧助成事業を実施。3年間に渡る出石川復興プロジェクトが発足することとなった。

しかしこの工事が、ある生き物の

発見により、新しい川づくりへの取り組みに発展していくとは、この時まだ誰も知らない。

認識を変える発見

「二度とあのような水害が起こらないよう、安心して暮らせる川づくりを」。平成17年春、再びかつての出石川を取り戻すべく、復旧工事が大急ぎで進められようとしていた。

そんな時、「出石川でオオサンショウウオを見た」という地元の住民からの声が寄せられた。

ある担当者は、台風前に行っていた環境調査を思い出した。その調査では、絶滅が危惧されているキイロヤマトンボやスナヤツメなどの貴重種が発見されていた。

「豊かな自然環境が残る出石川。オオサンショウウオがいても不思議

シンケンホーム
有限会社 新栄建測 SHINEI KENSOKU

私たちはシンケンです。 高品質・適正価格の住宅提案

シ シアワモクウカン 幸せ空間
 ツ アンシンスマイ 安心住まい
 ケ ケンコウジョウタク 健康住宅
 ミン ナマンゾク みんな満足

新築、リフォームはもちろん、水漏れやトイレ詰まりも!お気軽にご相談下さい。

〒668-0015 兵庫県豊岡市一日市1676-17 “暮らし”をトータルプロデュース
TEL.0796-24-6350/FAX.0796-24-9577

水ノ山のフナの木

人と環境にやさしい家づくり

お見積り無料! 0120-577-406



台風23号により道路が陥没した国道426号(豊岡市出石町寺坂)



保護池で観察する小学生たち



オオサンショウウオ保護対策検討委員会



夜行性のため、夜間も捕獲作業が行われた。

ではない」と、直感的に思った。「いくら災害に強い川を作っても、豊かな環境を壊してしまつては意味がないんじゃないか」。

工事に先立ち、約2カ月に及ぶ「環境調査」が行われることになった。彼らは予想もなかった出石川の豊かさを垣間見ることになる。

ナガレホトケドジョウなどの貴重種とともに、オオサンショウウオがなんと256頭も確認されたのだ。オオサンショウウオと言えば、世界でも西日本にしか生息していない国の特別天然記念物。

「こんなにいるとは」、声をあげる調査員。清流を好むとされる世界最大の両生類がこれほど大量に発見されたことは、関係者の度肝を抜いた。

「一番の驚きは、山地の溪流に生息するオオサンショウウオが、下流域で115頭も見つかったことですね。台風による増水で流されたと考えられますが、環境が変わつても生き続けていたことに感動しました。出石川の水质のよさを表す出来事だったと思います」と、災害復興事業室長の森口さんは語る。

但馬に住んでいながら気づかなかった但馬の川の美しさ。こうして、復旧工事とともに、オオサンショウウオを保護する取り組みが始まった。

大規模な救出作戦

オオサンショウウオや川の生き物たちに優しい川づくりに向けて、学識経験者や住民代表などで構成された保護対策検討委員会が、平成17年7月に設置された。

オオサンショウウオにとって最大の敵は、コンクリートで固められた護岸工事である。昼間は川の横穴などにじつとしている生き物。棲み家ごと生き埋めになったり、重機などによって傷つけられることが予想された。

「オオサンショウウオを救い出せ」。委員会では工事中、別の保護池に避難させることを確認。工事終了後に放流していくことが承認された。

200頭以上を一齐に避難させる大掛かりな作戦。夜行性の生き物のため、作業は夜間も行われた。暗闇の中、ヘッドライトの灯りを頼りに、懸命の救出作業を行う調査員たち。捕獲には、1頭1頭、個体識別用のマイクロチップを埋め込む作業も伴う。根気のいる救出が続いた。「貴重な生き物を守りたい」という気持ちが、真っ暗な川へと歩を進めさせた。

保護池での出来事

「保護したオオサンショウウオをどこに避難させるか」。きれいな水を好

有限会社マジックの仕事

フリーダイヤル 0120-049-132
マジック イン サツ
ショップ: 豊岡市日高町浅倉243
e-mail: m@magic-co.jp
www.magic-co.jp

豊岡市街

神鋼 ヒラキ 八鹿

希望工房見学

バドミントンチーム

ごあいさつ

オリジナルTシャツのマジックです。この度、ご縁あつて浅倉R312浴いに新工房を開設することができました。

これも応援して頂いたファンの方々のお陰だと感謝致しております。

今までオリジナルTシャツをはじめ、ハッピ、旗、ステッカー、名刺、等ご提供させて頂いてきました。しかしよく考えてみますと私どもがやってきた事の本質は「絆づくり」ということに気づきました。今後は「絆工房」と銘打って、みなさんのコミュニティづくりに役立つ一品を作ることが私達の使命だと考え、より一層精進して参りたいと思います。

ステキな絆をデザインします。

希望工房

CHALLENGER 20

[挑戦者たち]

出石川復興プロジェクト



堰には魚道(左)や緩やかな傾斜をつけたり、護岸には巢穴(上)を付けるなど、できるだけ自然に近い改修が行われた。

む生き物、急激な環境の変化は、生命の危機にさらされる。

そんな状況の中、白羽の矢が立ったのが、豊岡市日高町十戸でニジマス養殖に携わる西田俊男さんだった。十戸と言えば、神鍋高原の溶石断層から流れ出る清らかで豊富な伏流水、を利用して、古くからニジマスやワサビ栽培が行われてきた清流の里。保護池としては絶好の場所だった。さらに、水温が年間を通して安定していること、養殖用の水槽が活用できることも格好の条件となった。

十戸に向かう職員。しかし、返ってきた答えは思わしいものではなかった。「飼育経験もなく、生熊がよく分かっているという未知の生き物。しかも、国の特別天然記念物に指定されている貴重種。死なせてしまうのではなにかという不安があつたんだと思います」とは、依頼に当たった職員。

「オオサンショウウオを守りたい」という必死の説得は、西田さんの心を動かす。「貴重な生き物を保護する取り組みに協力できるのなら」と、活動に参加してもらうことになった。その後、保護池では順次捕獲されたオオサンショウウオが移され、その数は400頭を越えた。これだけの数を1カ所で飼うのは稀なこと。定期的な健康診断を行い、弱った個体

は別の池で保護するなどして、ストレスを与えないよう飼育された。

こうした地道な努力と西田さんの養殖経験などが実を結び、ケンカや共食いもなく順調に育っていった。そんな愛情が伝わったのか、警戒心が強く昼間は姿を見せないオオサンショウウオが、西田さんが手を叩くと姿を現すようになったという。これも熱い思いがもたらした奇跡なのかもしれない。

出石・リバーズ

自然環境に配慮した河川工事を行う。オオサンショウウオの発見は、工事担当者にとって、当初の工事計画を一から変える大事件だった。

今までの河川改修は、コンクリートで岸辺を固めて堰を設けるなど、生き物が暮らしにくい環境を結果として生み出していた。

今回の工事では、生き物の隠れ家となる巢穴を確保したり、澄筋を付けるなど、自然の状態に近い変化を持たせた改修を実施。上流に上ろうとするオオサンショウウオのために、堰には魚道を設けるなどした。

工事計画の見直し、初めての工法、急がれる復旧工事。徹夜の日々も少なくなかった。

「養父市の建屋川で前例があつたも

豊岡店
豊岡市中陰589-1
TEL.0796-24-9595

豊岡駅前店
豊岡市中央町10-12(大開通り沿い)
TEL.0796-26-1555

八鹿店
養父市八鹿町下小田103-1
TEL.079-662-1200

和田山店
朝来市和田山町土田339-5
TEL.079-670-2525

■営業時間 PM5:00~AM0:00

好きです つぼ八

新メニューを取り揃えてお待ちしております

ご家族連れも気軽に楽しめる!

つぼ八豊岡駅前店・和田山店では、居酒屋・炭火焼肉メニューの両方をご注文いただけます!

■正社員・パート・アルバイト 募集中!! ホームページからの応募もできます! ■スタミナグループ 検索

*HPアドレス: <http://www.staminafoods.com/> *お電話での問い合わせは、0796-23-5741(月~土・9:30~17:00)



保護池では健康診断をするなどして飼育管理が行われた。



昨年の秋の放流イベント。子どもたちによって名前が付けられた83頭が再び、出石川に帰っていった。



工事期間中は自然観察会を通して川の素晴らしさが伝えられた。

オオサンショウウオを守ろう。

オオサンショウウオは国の特別天然記念物に指定されています。許可を受けずに、むやみに捕まえたり、飼育することなどは禁止されています。

の、巣穴に入ったオオサンショウウオを上から観察できるようにマンホールを設置するなど、新しい試みにも挑戦しました。その都度、専門家の意見を聞きながら進める試行錯誤の連続。保護活動も合わせて行いましたから、現場の職員は本当に大変だったと思います。しかし、画期的な改修工事に関わられ、土木屋としての魂が揺さぶられましたね」と、森口室長。

さらに、地元住民とのふれあいも彼らの大きな心の支えとなった。

「よみがえれ！出石川・リバーズプロジェクト」。これはオオサンショウウオの保護を中心に捉えながら、地域住民が主体となって川づくりを考え、いくという取り組み。

「リバーズ」とは、川のボランティアリーダーを意味する。特に子どもたちを対象にした「ジュニアリバーズ」では、水質・生物調査などを通して川の

豊かさや楽しさを伝え、将来の「リバーズ」を育てていくことを目指した。

目をきらきら輝かせながら、川と戯れる子どもたち。住民とともに進める工事、子どもたちの歓声と笑顔は職員たちの疲れを癒した。

そして何よりうれしい出来事は、子どもたちが自分の住む川に関心を持ち始めたこと。ゴミの多さに気づき、川をきれいにならねと呼びかける運動も始まった。

官民一体となった新しい川づくりへの挑戦に、ふつふつと湧いてくる使命感。工事の勢いが加速する。

自分たちの川を守る

平成20年3月、3年間に及ぶ災害復興事業は完成を迎え、ひとつの区切りを迎えようとしている。

保護されていたオオサンショウウオは昨年11月、83頭を試験放流。今

後、2回に分けて放流されていく。

「本当にこの工事の真価が問われるのはこれから。事業が終わっても生息状況などを調査して見守っていきます。オオサンショウウオが人工の巣穴に卵を産んでくれたら、素晴らしいことですね」と、室長は最後に語った。

川の生き物とふれあい、川の中で遊ぶ楽しさを体感した地元・高橋小学校の生徒たち。「出石川の水辺再発見マップ」は、兵庫県で最優秀賞を獲得。全国大会でも優秀賞に選ばれ、自分たちの川を守るということへの重要性に気づき始めている。

オオサンショウウオの発見をきっかけとして、環境に優しい河川改修工事に取り組むこととなった出石川復興事業の挑戦。台風23号が残した深い傷痕は今、川を愛する人々によってゆつくりと癒されようとしている。協力：兵庫県但馬民局

本格的でエレガントな本塩澤を、単衣で纏い心地よいシャリ感をお楽しみ下さい。バックはモール地、銀色と黒色のモトーン。

※ナチュラルカラーリストによる分類は、自然の配色 ■ソルカラー ■エアロカラー ■アクアカラーの3つの色型からなっています。写真のコーディネートは着物、バック、帯、すべて ■ソルカラーで統一しています。

大人のあなたに…
愉しいきもの

凛とした着こなしをご提案いたします

おしゃれきもの
野木纏家

京都府京丹後市大宮町口大野173番地
電話：0772-64-2241
営業時間：10:00～19:00 定休日：水曜日
(のぎまとや) <http://www.nogimatoya.jp/>